

ふじた  
藤田 徳子さん

フライダル&パーティープロデューサー。自身の結婚式に疑問を感じたことをきっかけに1998年に起業。県産品のオリジナル贈答品「讃岐おもてなし重」もプロデュース。栗林公園商工奨励館のレストランも運営する。高松市在住。45歳。



すてきな人

カ

ツプルに寄り添い、二人らしい結婚式をプロデュースするフェアリー・テイル（高松市）社長の藤田徳子さん。「結婚式の仕事をしているというより、『ハレの日文化』を守り、日常の中に非日常的な楽しみをつくるのが私の仕事」と「使命」を語る。

今年、会社は創業20周年。2012年、藤田さんがプロデュースした栗林公園初の結婚式が「良い結婚式プランニングコンテスト」で全国2位を受賞。以来、瀬戸内海の島や玉藻公園、栗林公園など地域財産を生かした「ふるさと讃岐ウエディング」を求め、全国か

らカップルが訪れる。

岡山県倉敷市生まれで、老舗劇場を営む家に生まれた。しきたりや行事を重んじる大人たちに反抗したこともあったが、今では自分が文化や歴史を語る側に。15年からは栗林公園商工奨励館のレストラン運営に携わり、外国人観光客にも魅力売り込む。「私が大切にしたいのは、時代の流れに左右されない日本の文化」と確信している。

プライベートでは、2人の子どもの母親。長女が生まれた14年前に決めた「エンドゴール」があるという。「目標は今もぶれていない」と胸を張った。

大切にしたいのは

時代に左右されない文化



発行所 四国新聞社

〒760-8572  
高松市中野町15番1号

© 四国新聞社 2017年

ご意見・お問い合わせは

読者相談室 087-833-5552

(平日10時～17時/土日祝休)

電話 087-833局

報道部 1119 総務局 1114

運動部 1818 販売局 1124

生活文化部 1121 広告局 1145

事業室・文化教室 811-2300

ご購入のお申し込みは

☎ 0120-084459